

ストップ「改憲」 くらしを守れ！

国民は「9条改憲」
望んでいません！



臨時国会への
自民党改憲案提出に

「反対」：51.0%
「賛成」：35.7%

共同通信世論調査 (9/20・21)

臨時国会の所信表明演説で、安倍首相は「改憲」への執念をむき出しにしました。「憲法審査会を動かせ」と言わんばかりの首相演説は、国会への重大な干渉であり、三権分立を犯すもので許されません。

ましてや国民は改憲を望んでいません。どの世論調査でも、「臨時国会への改憲案提出」について、反対が賛成を上回っています。

国民が政治に求めているものは、第一に「社会保障」、第二に「経済対策」です。

「憲法を変える」のではなく、「憲法を守り生かして、くらしを守る」ことこそ求められています。

課題山積の臨時国会 暮らし第一の審議を

臨時国会では、この間の地震・洪水・台風などへの災害対策、被災者支援の緊急施策が求められます。「防衛予算より防災予算を」「カジノより被災者対策を」の声は切実です。

森友・加計疑惑も解決していません。また、「来年秋に消費税10%なんて、とんでもない」の声も高まっています。

主権者・国民の声を大切に、暮らし第一の国会審議が求められます。



安倍9条改憲は、「戦争する国」への道

「北朝鮮の脅威」がなくなりつつあるのに、イージスアショアやオスプレイなどアメリカの高額兵器を購入し、軍事費は過去最高です。安倍首相は、さらに憲法9条に「戦争する自衛隊」を書き込む「安倍9条改憲」で「海外で無制限に武力行使できる国」をねらっています。

安倍首相は自衛隊観閲式で自衛官に「改憲」の訓示を行うなど、憲法を守るべき義務をもつ首相として絶対にやってはならないことを繰り返しています。憲法を守らない首相に、「改憲」を語る資格はありません。



「安倍改憲NO！3000万署名」にご協力を